

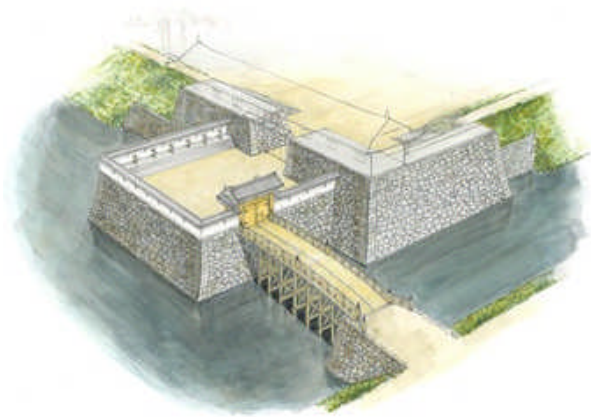
高麗門復原工事レポート

山形城本丸一文字門は枡形門であり、大手橋を渡った先の枡形石垣には、当時、高麗門と土塀が存在していたことが分かっています。

霞城公園整備事業の一環として、平成24年度に高麗門復原工事に着手、平成25年7月19日に完成しました。現在は、枡形土塀の復原工事を実施中です。

ここでは、高麗門復原工事完成までの工程を紹介します。

1 本丸一文字門復原工事完成予想図



本丸への入り口は、この一文字門のほか北不明門がありました。一文字門は、本丸の正面玄関にあたります。

櫓台石垣の上には、「一文字櫓」と呼ばれる約47mの長大な櫓があったようですが、現在のところ、詳細な史料は発見されていません。

2 着工前状況



一文字門大手橋を二ノ丸側から見た着工前状況です。この大手橋を渡った先に、高麗門を復原しました。

3 工場加工



使用した木材は、檜と杉です。高知産と吉野産を使用しています。

木材や土台石の加工は、京都の工場で行いました。

4 柱足元加工



土台となる礎石に合わせ、木材を加工し、見事なまでの接合です。

5 建方



加工した木材を現場に搬入。
クレーンを使って、いよいよ組立開始です。

6 屋根架設



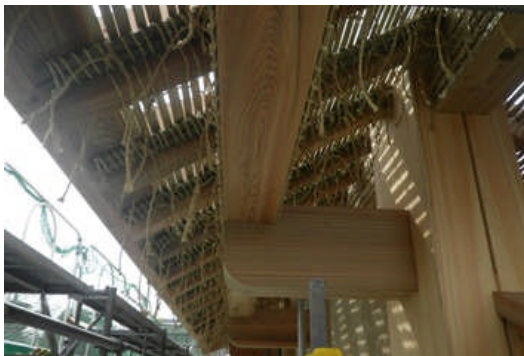
屋根の形が見えてきました。

7 竹木舞



垂木の上に、軒裏漆喰塗の下地として、竹木舞を取り付けます。

8 軒裏漆喰塗下地



漆喰下地には、このようにわらが使われます。

9 妻側漆喰塗下地



妻側にも漆喰塗下地として、竹木舞を組み上げます。

10 瓦葺き下地組



瓦葺きの下地として、竹木舞の上に、更に垂木を載せます。

11 土居葺



屋根瓦葺きの下地として、土居葺を施工します。

12 瓦葺き



表面からは分かりませんが、瓦葺きでは、安全性を考慮して、ステンレス針金による固定を行いました。

13 荒壁塗り



竹木舞下地に荒壁を塗っていきます。荒壁に使用する土には、稲わらが刻み込んであります。

14 荒壁



荒壁施工後、乾燥させます。

15 中塗り



中塗り完了です。

軒裏は、垂木に合わせ、波型に仕上げます。

16 上塗り



上塗りで表面を平らに仕上げます。
乾燥をさせて、いよいよ白漆喰の仕上げに入ります。

17 漆喰塗り



漆喰塗りが完成。
瓦と漆喰のコントラストが、城郭の雰囲気を出します。

18 扉吊り込み



最後に、工場で作成した扉を吊り込みます。
扉は、片側の重さが約 1,500 kg、裏面に縦格子がびっしり並び、金具で鏡柱に3点で吊る堅固な造りになっています。

19 完成



高麗門の完成です。
山形城の本丸正面口に相応しい、立派な門を復原することができました。
平成 25 度には、この高麗門に接する枡形土塀を復原します。